

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 折尾地区

平成25年3月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	JR折尾駅の乗降客数	人/日	33,555	30,500	31,850	確定 見込み	○ ●	あり なし	32,871	H24年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	JR折尾駅周辺の道路整備等により、アクセス利便性が向上し、乗降客数の減少抑制に繋がった。また、本地区の街なかエリアを中心に住宅等が新築され、人口が一部増加したことなど、乗降客数の減少の抑制に寄与した。
指標2	居住人口	人	54,251	54,000	53,340	確定 見込み	△ ●	あり なし	53,321	H24年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市全体と同傾向である折尾地区の人口減少について、本事業により抑制することを目標とした。事業進捗により、目標値まで減少を抑制することができなかったが、平成17年度から23年度までの減少率は、市全体の減少率に比べ、0.28ポイント抑制された。
指標3	児童館利用者数	人/年	19,673	22,000	27,430	確定 見込み	○ ●	あり なし	24,486	H24年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新折尾児童館の収容可能人数の増加により、放課後児童クラブの受入れ人数の拡充が可能となり、目標を上回り達成された。また、公園整備なども子育てしやすいまちづくりの推進に貢献した。
指標4	折尾土地区画整理事業施行地区内の老朽住宅棟数	棟	293	238	261	確定 見込み	× ●	あり なし	257	H24年4月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業施行区域内の家屋移転補償により、老朽住宅を55棟削減する計画であったが、移転先の選定などに時間を要したこと、目標棟数まで達成できなかったものの、除却箇所については、密集状況が改善され、防災面でも改善の方向に向かっていることは評価できる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	街なかにおける居住人口	人	24,159	24,660	確定 見込み	●	/	/	24,540	H24年5月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	当該地区の内、街なかエリアにおける住宅等の新設に加え、公園整備や金山川親水空間整備事業等により、居住環境が向上し、街なかにおける居住人口が増加した。
その他の数値指標2	街頭犯罪認知件数	件	409	144	確定 見込み	●	/	/	152	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業による用地取得箇所を活用して、暫定的な駐車場の整備・プランター等による環境整備に向けた取組みが心理的な犯罪の抑制に繋がり、街頭犯罪者数が減少するなど、安全で快適な住環境の形成につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全で快適な住環境	土地区画整理事業区域内の老朽住宅の用地取得箇所を活用して、暫定的な駐車場の整備やプランターの設置など、環境整備に向けた取り組みを行った。	密集状況が改善され、街頭犯罪認知件数が減少するなど、安全性・防犯性が向上した。	密集住宅地を改善し、安全で快適な住環境を形成するため、引き続き土地区画整理事業等を推進する。
	生活支援拠点に相応しい都市空間の魅力形成	民間住宅整備の推進にあわせた周辺の公園整備や、河川の親水空間の整備を行った。	都市空間の魅力が向上し、当該地区の街なかにおいては居住人口が増加した。	交通利便性が良いという地域特性を活かし、街なか居住の促進と魅力ある快適な都市空間の形成に向けて、引き続き道路・公園等の基盤整備を行う。
	安全・安心に生活できるまちづくり、子育てしやすいまちづくりの推進	新児童館を整備し、放課後児童クラブの受け入れ対象を拡充した。また、子育てしやすいまちづくりのため、公園整備なども行った。	収容可能人数が拡充され、かつクラブの受け入れ人数が増えたことから、児童館利用者数が増加した。	子育てしやすい環境づくりのため、新しい児童館の活用や、市民センター等との共同の催しにより、世代間交流を通じて児童の体験活動の幅を広げるなど、子育てしやすい環境づくりを進める。
改善策  ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	駅へのアクセシビリティ及び周辺交通環境の改善	JR折尾駅周辺の道路整備や、駅前機能の移転に伴い新たな一般車送迎等のためのロータリーを整備した。	駅へのアクセシビリティが向上し、駅の乗降客数の減少が抑制されている。	鉄道による地域分断の解消、交通の円滑化及び交通結節機能の強化のため、引き続き鉄道の連続立体化、及び駅前広場を含む駅周辺・地区内の道路等の基盤整備を行う。
	住環境及び防災上の課題の改善	土地区画整理事業による老朽住宅の除却や、用地取得箇所を活用した、暫定的な駐車場の整備やプランターの設置など、環境整備に向けた取り組みを行った。	住環境は改善の方向に向かっているが、移転補償の進捗により老朽住宅が残っている。	引き続き移転補償の交渉を進め、老朽住宅の除却とともに、道路等の基盤整備を行い、さらに安全で快適な住環境の形成を図る。
	魅力あるにぎわい空間の形成と街なか居住の推進	民間住宅整備の推進にあわせた周辺の公園整備や、河川の親水空間の整備、一部の歴史的建造物の保全・活用等を行った。	街なかエリアにおける居住人口は増加傾向となるなど、都市空間の魅力向上につながった。	駅周辺の景観づくり、都市機能の集積・誘導など、街なか居住に向けた取り組みを進める。また、あわせて高架化により生まれる高架下空間や既存市場周辺エリアなどについて、商業を中心とした賑わい空間の形成に向けて、地元まちづくり団体等の意見を尊重しながら検討を進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項